愛知教育大学 地域連携センター広報誌

ちいきの大学

20号

■ Contents

- 地域連携センターの主な活動
- 学校教育支援部門の活動
- 企業連携部門の活動
- 地域活性化部門の活動
- SDGsへの取り組み
- 2023（令和5）年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

愛知教育大学は教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、広く社会と連携し、
教育研究の成果を還元しながら社会の発展に貢献します。

未来を創る子どもを地域とともに

地域連携センター長　大鹿　聖公

2022年、本学は愛知県SDGs登録制度に登録しました。SDGsの中心的課題の一つは教育です。未来を創る子どもを育てること、それが本学の使命であり、またこれを実行するためには、地域のさまざまなステークホルダーと連携・協力していく必要があります。SDGs達成に向けて愛知教育大学は「ちいきの大学」として、あらゆる教育にかかわるステークホルダーとともに、未来共創を掲げて進めていきたいと考えています。

発行　愛知教育大学 地域連携センター
〒448-8542　愛知県刈谷市井ケ谷町広沢１　tel 0566-26-2129　fax 0566-95-0552　mail chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

https://www.aichi-edu.ac.jp

地域連携センターの主な活動

地域連携フォーラム2022

2022年6月25日(土)、刈谷市産業振興センターで「地域連携フォーラム2022」を開催しました。

フォーラムでは、「持続可能な社会を構築するための協働のあり方について」をテーマに刈谷市内の自治体、企業、教育機関それぞれのSDGs推進のための活動発表とパネルディスカッションを行いました。

当日は、教育関係者、自治体職員、会社員など各方面の方々約70名が参加しました。

前半は、企業部門から株式会社豊田自動織機 高木博康総務部長・広報部長、角文株式会社鈴木文三郎代表取締役社長、また、学校教育部門からは愛知県立刈谷北高等学校 江坂嘉彦校長、そして、自治体部門から刈谷市 村口文希企画財政部長の4名の方々がSDGsに向けての取り組みについて実践発表を行いました。実践発表では、各団体が取り組むSDGs活動事例の紹介と今後に向けた取り組みについてのお話がありました。

後半は、土屋武志地域連携センター副センター長の司会により、実践発表者4名の方々と本学の教育学部 初等教育教員養成課程 理科選修 4年 上野光さんでパネルディスカッションを行いました。ディスカッションは「今後どのようにしてSDGsを進めていくか」をテーマに議論しました。パネリストだけではなく、参加者からも多くの意見や質問が飛び交い、会場が一体となってSDGsについて考えました。

パネルディスカッションはまちづくりなど具体的な課題についても議論をし、今後の連携へのよいきっかけとなりました。

愛知県ユネスコスクール指導者研修会

2022年10月8日(土)、常滑市にある愛知県国際展示場で、「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。

本学は「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク」に加盟し、県内のユネスコスクールを支援する支援校として活動しています。本研修会はその活動の一環として、また未加盟校へのESD活動の取組のきっかけづくりにしていただくため毎年開催しており、今年で11回目の開催となりました。

昨年度に引き続き、愛知県教育委員会が開催する「愛知県ユネスコスクール交流会」と同日の同会場で時間を分けて開催しました。また、当日、同会場では愛知県主催の「SDGs AICHI EXPO 2022」が開催され、多くの来場者で賑わっていました。

はじめに本学附属名古屋小学校の藤本和哉教諭、学校法人皇學館 皇學館中学校の小林誠治教諭、本学附属高等学校の小田原健一教諭、岐阜県立八百津高等学校の河田雅幸教諭から、それぞれの学校でのESD実践事例の発表がありました。

後半はフロアの参加者と発表者の間でディスカッションを行いました。ディスカッションでは、これからユネスコスクールに加盟をしていくにあたっての課題や効果、ESDの実践を通しての所感のやりとりなど、実際的な内容が話し合われました。

研修会終了後は本学大鹿聖公地域連携センター長がアフターセッションを実施し、SDGsをわかりやすく理解していただける教材の紹介や資料の提供を行いました。

愛教ちゃん

エディ

医教連携フォーラム2022

2022年12月24日(土)、岡崎市図書館交流プラザりぶらにて「医教連携フォーラム2022」を開催しました。「医」と「教」の連携を深めていくことを目的として連携協定を締結している藤田医科大学と共同開催で「医教連携によって開発した食物アレルギー等緊急時対応プログラムの実践－そなえる＆ふせぐ　安心な学校づくり－」をテーマにフォーラムを開催しました。

今年度で7回目の開催となり、当日は養護教諭等の現職教員を中心に13名の参加がありました。

前半は、本学地域連携センター委員の岡本陽准教授より実際に起こった誤食事故(インシデント)の事例分析と学校におけるアレルギー対応体制について説明がありました。次に、藤田医科大学地域連携教育推進センター長の石原慎教授より、アナフィラキシーの症状等について実際の写真や音声による事例を交えて説明がありました。

後半は、座学では習得できない緊急時の対応について、人形と練習用注射器を用いて参加者全員が実際にエピペン(アドレナリン自己注射薬)を使用した実技トレーニングを行いました。

教育現場等での課題である食物アレルギーへの対応を学ぶ貴重な機会となり、今後につながる有意義なフォーラムとなりました。

公開講座

本学では、教育研究の成果を広く社会に還元する目的で教員を対象とした免許法認定公開講座以外に、生涯学習の推進のため、一般の方を対象に近隣市教育委員会と連携して行う連携公開講座や、学内開催の講座を実施しています。

令和4年度の公開講座は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら開催し、多くの方に受講いただくことができました。

令和5年度もたくさんの講座を開設する予定ですので、ぜひご参加ください。

教員派遣・講師派遣

地域連携センターでは、講演会・研修会等の講師や研究会での指導・助言者、各種審議会の委員など、相談や要望に合わせ、各種講師派遣を行っています。

詳しくは、本学HP(下記URL)をご参照ください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/instructor.html

高校訪問授業

高等学校と大学との連携の一つの形として、大学で実際に行われている講義・授業等を身近に体験することで、高校生の大学に対する理解を深め、進学意欲を高めることを目的に高校訪問授業を実施しています。

令和4年度は25校へ出向き、1,114名の高校生に大学の模擬授業を体験していただきました。

高校訪問授業の実施や申込等については、本学HP(下記URL)をご参照ください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html

学校教育支援部門の活動

愛知県立豊橋南高等学校教育コースの個人研究中間発表会

2022年5月28日(土)愛知県立豊橋南高等学校教育コース3年生40名が本学を訪問し、次世代教育イノベーション棟において、個人課題研究中間発表会が行われました。

当日は、本学地域連携センター担当教員を交えたグループに分かれて、生徒が進めている個人研究について一人一人グループ内で発表を行い、大学教員から研究のアドバイスをもらいました。

「ESD for 2030」TOKAIプロジェクトの実施

◎三重研修会

2022年12月17日(土)三重大学　環境・情報科学館で「ESD for 2030」TOKAIプロジェクト 三重研修会を開催しました。

本研修会は、三重大学が主催する三重ユネスコスクール研修会2022と共同で開催し、前半を三重大学による三重ユネスコスクール研修会2022、後半を「ESD for 2030」TOKAIプロジェクト三重研修会として実施しました。

前半では、三重県におけるユネスコスクール活動の報告として、三重県立桑名高等学校、三重中学校・高等学校の生徒から、また、三重大学ESD-SDGsクラブからそれぞれの学校での活動報告が行われました。

後半では、7月から5回にわたり実施してきたESD授業づくりのための研究会参加教員のうち、三重県からの参加教員3人が、ESD授業を通した学びを発表しました。

◎岐阜研修会

2023年1月8日(日)岐阜駅前のじゅうろくプラザで「ESD for 2030」TOKAIプロジェクト 岐阜研修会を開催しました。

前半は、「新学習指導要領におけるESDとユネスコスクール」と題し、本学大鹿聖公地域連携センター長のミニ講義が行われました。

続いて、岐阜県におけるユネスコスクール活動の実践事例紹介として、岐阜県立関高等学校の永田英之教諭の報告と、同校の生徒の皆さんから、地域と連携した地産地消の取り組みについて事例発表が行われました。

次に、愛知県におけるESD授業展開等について、小牧市立篠岡小学校の石川敬祐教諭、名古屋市立丸の内中学校の坪井大知教諭、本学教職大学院の竹内真紀さんからそれぞれ発表がありました。

後半は、会場にいる参加者全員が3つのグループに分かれて討議を行い、これからのESDの活動のさらなる充実に向け、互いの取り組みについてなど話し合いました。

◎成果フォーラム

2023年1月28日(土)にウインクあいちで「ESD for 2030」TOKAIプロジェクト 成果フォーラムを開催しました。

研究発表ではESD授業の実践について、研究会に参加した教員5人から発表がありました。

グループセッションでは、3つのグループに分かれ、研究会での取り組みなど共有し合いました。

全体セッションでは、それぞれのグループでどのような対話が持たれたかを共有し合い、研究会のチューター、アドバイザー6人から、今回のフォーラムや研究会を受けて、それぞれコメントをいただきました。

― 企業連携部門の活動 ―

角文株式会社による環境活動「川の環境学習」への活動支援

2022年6月1日(水)に、角文株式会社による小学校への環境活動「川の環境学習」が刈谷市立富士松南小学校4年生の児童を対象に実施され、本学で理科を専攻する学部生、大学院生が活動支援を行いました。

当日、天候にも恵まれ、富士松南小学校4年生児童100人以上に対して、角文のスタッフ約20人、本学理科専修の3年生5人、教科指導重点コース(理科)の大学院生5人の10人が活動に参加しました。

活動場所は、刈谷市泉田町(刈谷市総合運動公園横)の逢妻川で、川の流速、にごり、透明度、pH、CODなどの調査を行った後、実際に川に入って生き物調査やごみ拾いを行いました。

本事業に協力した本学の学生も、コロナ禍の影響で屋外の環境活動に参加できなかった中での久しぶりの活動で、児童と共に川の環境についての学びを深めると同時に、野外での教育活動の支援の方法など多くのことを学んだ機会となりました。

企業との協定締結

2022年3月3日(木)にテクノホライゾン株式会社と、4月14日(木)に広島県教科用図書販売株式会社と、5月25日(水)に株式会社教育芸術社と、5月26日(木)に丸善雄松堂株式会社と、5月30日(月)にシーホース三河株式会社、Sky株式会社と、2023年3月9日(木)に三河ベイフットボールクラブ株式会社と相互連携に関する協定を締結しました。

教科書等出版社、IT関係会社との連携は、デジタル教科書の活用などICT教育の推進を、スポーツクラブとの連携においては、スポーツ活動のほか、大学の授業の一環である企業体験活動においても連携することを目的としています。

今後は一層連携を深め、教育大学としてICT教育等を通じた企業との連携推進に力を入れて参ります。

他の締結先の情報は本学HP(下記URL)をご参照ください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/kyotei.html

(2023年3月末現在)

― 地域活性化部門の活動 ―

地域への協力

地域連携センターでは、地域からのご依頼、ご相談を受け付けています。

2022年10月16(日)には、井ケ谷町内大運動会を本学グラウンド(サッカー場)で行いました。

防災に関する知識や意識を身につけることや地域交流を目的として行われ、当日は本学野田敦敬学長、杉浦慶一郎連携・附属学校担当理事、地域連携センター地域活性化部門縄田亮太委員、学生団体「かきつばたの民」に所属する学生が参加しました。

2023年1月8日(日)には、井ケ谷町内会の行事である「新春ウォーキング」のウォーキングルートの一部として本学を開放しました。緊急時避難場所となっている学内の建物等を確認し、参加者の防災意識を高めるため、昨年に続き2回目の協力となりました。

当日は、本学野田敦敬学長と学生団体「かきつばたの民」に所属する学生が参加し、地域の方々と交流しました。

四者協定に基づく連携事業

刈谷市、刈谷駅前商店街振興組合、刈谷商工会議所と本学との四者協定の一環である子ども向け造形ワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、7講座を遠隔形式で実施しました。

本学学生が、お菓子のオリジナル型の作り方の動画を刈谷駅前商店街のYouTubeチャンネルで公開することやzoomでポスターを描くコツを指導するなどを行いました。

また、対面で実施した3講座では、子どもたちが年賀状づくりやスノードームづくりを楽しみ、最後まで真剣に取り組む姿やたくさんの笑顔が見られました。

SDGsへの取り組み

愛知県SDGs登録制度への登録

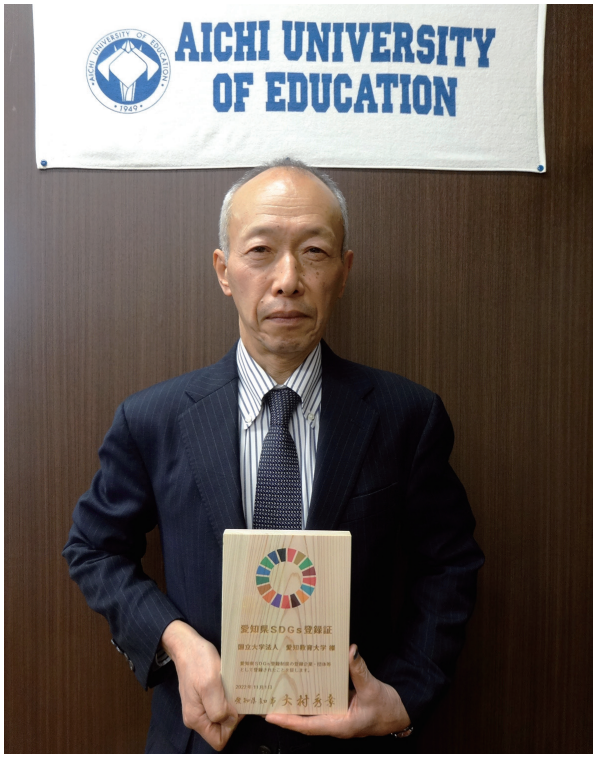
2022年11月1日(火)に愛知県SDGs登録制度に登録しました。

愛知県が創設した「愛知県SDGs登録制度」はSDGsの達成に向けて取り組む企業・団体等を登録し、企業・団体等の取り組みを「見える化」することで、SDGsに関する具体的な取り組みを普及させることを目的としています。

本学では、中央銀行、各種業界団体、金融業の方にもご協力いただきながら、経済や金融に関する基礎知識を習得させる授業科目の開講や多文化化する学校教育現場や地域社会で貢献できる人材の育成・研修や日本語指導に関する調査・研究および教材開発などの外国人児童生徒等支援、生物多様性や環境問題に関する出前授業やイベントへの出展、プロジェクトの実施などSDGsの3側面である経済・社会・環境に関わる様々な教育活動を展開しています。

また、SDGsに関わる多数のイベントも開催しています。

今後もSDGs達成へ向けて様々な活動に取り組んで参ります。



SDGs AICHI EXPO 2022への出展

2022年10月6日(木)～8日(土)に愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)展示ホールAで開催された「SDGs AICHI EXPO 2022」に本学がブースを出展しました。

今回は、愛知教育大学と愛知教育大学附属高等学校サスティナ部、愛知教育大学附属名古屋小学校が次世代を担うユース世代の人づくりに向けた出展エリアである「次世代の人づくり」に出展しました。

本学のブースは、AUEパートナーシップ団体「SAGA」が自分たちの開発した教材の説明や各種資料の提供など、SDGs普及のために行っているさまざまな活動について紹介しました。SAGAが開発している教材は、カードやすごろくなど身近な遊びをベースにSDGsについて学び、考えることができるもので、子どもから大人まで幅広い世代がSDGsを知るよいきっかけになったと思います。

附属高等学校サスティナ部では、高校生たちが行っているSDGsに向けた様々な取り組みについて、ポスターの掲示や来場者に向けて説明を行いました。ブースにお越しいただいた方へ丁寧に紹介しており、生徒たちが行っているSDGs活動へ興味を持っていただくことができました。

附属名古屋小学校は、学校でのSDGsに向けての取り組みやESD活動についてポスターを用いた紹介や冊子の配布を行いました。

SDGs将来世代創造フォーラム2022への参加

2022年8月24日(水)に名古屋市中小企業振興会館　吹上ホールでアサヒ飲料株式会社中部北陸支社主催の「SDGs将来世代創造フォーラム2022」に本学大鹿聖公地域連携センター長と本学学生、愛知教育大学附属高等学校サスティナ部が参加しました。

本学のブースでは、AUEパートナーシップ団体「SAGA」がSDGs普及のために行っているさまざまな活動について紹介しました。

また、附属高等学校サスティナ部のブースでは、生徒が自分たちの行うSDGsに向けた取り組みを紹介しました。

ステージ会場では、大鹿地域連携センター長がパネルディスカッションに参加しました。ディスカッションには学校関係の他、自治体、企業の方々がパネリストとして参加し、「産官学によるWell-beingな未来を考える」をテーマに議論しました。大鹿地域連携センター長からは教育の観点からテーマに沿った話がなされました。

また、弁論大会には本学の初等教育教員養成課程理科選修4年 上野光さんが参加しました。弁論テーマは「未来における地域共創社会とは」で、上野さんは「地域共創社会には人づくりが大切であると考え、地域に住む子どもたちがその地域にある諸問題を発見し、解決する能力を身につけていく、また、地域の人など様々なつながりを通じて教育していくことが大切だと思います」など自身が教員になったときの想いも含めて話をしました。

愛知県環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」への出展

2022年11月6日(日)、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、愛知県が主催する環境イベント「Let's エコアクション in AICHI～みんなで楽しく！エコアクション～」が本年度、東海市と協力して名鉄太田川駅前イベント広場「大屋根広場」で開催されました。

本学からは、AUEパートナーシップ団体「SAGA」が「楽しみながらSDGs・生物多様性を学ぼう！」というワークショップブースを出展しました。当日は、天候もよく、地元東海市の方を中心に多くの参加者が来場され、本学のブースにも多くの子ども達が来場して、生物多様性の教材を体験していました。

かがやけ☆あいちサスティナ研究所への参加

2022年12月11日(日)、名城大学ナゴヤドームキャンパス南館DSホールで開催された「かがやけ☆あいちサスティナ研究所成果発表会2022」に本学の学生が参加しました。

本学からは、学生が「チーム・コメダ」「チーム・サンゲツ」「チーム・加藤建設」に参加し、企業と協働しながら提案した課題解決策を検討していきました。

2023（令和5）年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

種別		講座番号	講座名	開催日
大学主催の公開講座		一般（１）	夏本番前に学びたい ～水難事故から身を守るための知識を知ろう～	6月17日（土）
		一般（２）	親子をつなぐ思春期理解のための マインドフルネス子育て講座	6月17日（土）、6月24日（土）
		一般（３）	《お菓子》のペン画を親子で楽しく描いてみましょう。	6月25日（日）
		一般（４）	西洋クラシック音楽における女性作曲家 ～歌曲とピアノ作品からたどってみよう～	7月1日（土）
		一般（５）	身の回りにあるSDGsについて学んでみよう	7月9日（日）
		一般（６）	必勝法の数学	7月25日（火）
		一般（７）	パズルで学ぶポリオミノの数理	7月26日（水）
		一般（８）	水難事故から身を守るためのプール実習	7月29日（土）
		一般（９）	Pythonによるプログラミング入門	7月29日（土）
		一般（10）	ガラス工芸 ～サンドブラストでガラスに模様を彫る～	7月29日（土）
		一般（11）	高分子の化学	8月2日（水）
		一般（12）	現代アメリカを読む ～文学作品を通して考える多様性のあり方～	8月5日（土）
		一般（13）	古代末期のローマ ～衰退した旧都?～	8月5日（土）
		一般（14）	確率の始まり	8月7日（月）
		一般（15）	桃源郷とは～陶淵明「桃花源記」について～	8月7日（月）
		一般（16）	親子で考えよう! 拡張するネット社会 ～AIによる画像生成等を体験して未来の社会を考える～	8月11日（金・祝）
		一般（17）	心理学実験を体験してみよう ～人間の記憶・認知の不思議～	8月27日（日）
		一般（18）	他者を見るこころの仕組み	8月29日（火）
		一般（19）	新史料からみる秦の統一時代	9月29日（金）
		一般（20）	運動を中心とした様々な遊びを体験しよう	12月10日（日）
		一般（21）	オーブン粘土で干支づくり	12月23日（土）
協定締結市との連携公開講座	刈谷市	一般（22）	ディズニープリンセスとポストフェミニズム	8月5日（土）
		一般（23）	ミクロ生物の世界を覗いてみよう!	8月10日（木）
	知立市	一般（24）	日本語におけるジェンダー ～「愚妻」「鬼嫁」はあるのに、「愚夫」「鬼旦那」はなぜないのか～	7月8日（土）
		一般（25）	暗黒な宇宙	8月26日（土）
	豊明市	一般（26）	日常生活のはてな? ～身の回りの科学技術のひみつ～	6月24日（土）
		一般（27）	古典世界の連想ゲーム ～連歌の魅力を知る～	7月11日（火）
	安城市	一般（28）	一緒に考える身の回りの数学	7月29日（土）
		一般（29）	ICT支援員と学ぶプログラミング超入門 ～ブロックで実物を作って動かそう!～	8月18日（金）
	碧南市	一般（30）	民主主義（デモクラシー）について考える	7月1日（土）
		一般（31）	かな書道入門 ～好きな言葉を色紙に書こう～	8月17日（木）
	高浜市	一般（32）	増えてる?減ってる?あいちの両生類	10月8日（日）
	みよし市	一般（33）	ドイツの教育事情	6月17日（土）
		一般（34）	地層、岩石、化石から探る郷土の大地の成り立ちと特徴	8月26日（土）
	名古屋市	一般（35）	親子で学ぼう! 楽しく歌おう♪ ～声って何だろう～	6月10日（土）
			親子で学ぼう! 水について学ぼう ～水って大事?それとも危険?～	6月17日（土）

＊教員対象及び免許法認定公開講座も開講します。詳細は本学ホームページ（下記URL）にてご確認ください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html